

# 防犯マニュアル (保存版)

春日小学校 PTA生活指導委員会

## 各個人ですること

### 子どもたちへ

- ・ 防犯通報カードを時々見るようにする。
- ・ できれば大きな音のする笛・ブザーなどを持っておく。  
(笛の方が安くて壊れにくい)
- ・ 知らない人の車に乗らない。
- ・ 道を聞かれてもあまり近づいたりしない。
- ・ 外出時は寄り道などせずできるだけ早く帰る。
- ・ できるだけ一人で出かけない。

### 保護者の方へ

- ・ 子どもの外出先は必ず把握しておく。
- ・ 下校時や、外出からの帰宅時に必ず何かなかったか聞く。
- ・ 交番の場所を知っておく。
- ・ 中高生がたむろする場所に近づかせないようにする。
- ・ 車の進行方向の逆側を歩き背後からの接近を防ぐ。
- ・ 外出中は公衆トイレの使用は避ける。

## 各家庭で

### 子どもたちへ

- ・ 不審者に接触されると逃げる癖をつけておく。  
(知っている人でも車などに近づかない  
手を振り解くなど練習をしておく)
- ・ おはよう運動などを通じて、いつでも大きな声を出せるようにしておく。  
(とっさには、声が出ないものと認識し  
場合によってはブザーなどを持っておく)
- ・ 不審者を見かけたらよく観察し、大人に頼み  
必要にあわせて通報する。

## 保護者の方へ

- ・ 不審者を見かけたらよく観察し、必要に合わせて通報する。  
(学校関係・警察・救急車)
- ・ 不審者が事件を起こしたら、複数の人に応援してもらって声をかけ  
被害者の保護を目的とし、相手を追い詰めない。
- ・ 学校指定病院を知っておく。
- ・ パトロール中の看板や、黄色の腕章を着用して  
数多く目に触れるようにする。
- ・ 子どもに声をかけるときは、距離を置いて無理に近づかない。
- ・ 近所の人と常にコミュニケーションをとる。  
(どこの誰の子か知ってもらい  
お互いの住んでいるところも知っておく)
- ・ 通学路を歩いて通ってみて危険箇所・状態を知っておく。  
(不審者が潜んでいそうな所、逃げ道、近い住宅など)
- ・ 公園に行ってその周辺環境を知っておく。  
(不審者が潜んでいそうな所、逃げ道、近い住宅など)
- ・ 自宅に死角になりそうなところを作らない。
- ・ 家の周りをまめに清掃し、タバコの吸殻、空き缶などの  
小さな変化を見逃さない。
- ・ センサーライトなどをつけて不審者が近づきにくいようにしておく。
- ・ 外灯・玄関灯等の電球が切れていたら速やかに交換する。
- ・ 外で不審な音がしたり、声がしたら外へ出てみる。
- ・ 雨の日は、物音・声・人影が消されるのでよく注意する。

(学校関係・警察・救急車)

## 各地域で

- ・ 住所などの表示は見やすいようにしておく。
- ・ 近所の人どうし情報交換しておく。
- ・ 捨て看板などは速やかに処分する。
- ・ 放置自転車・落書き・不法廃棄物などを見つけたら速やかに地域の長に連絡し、速やかに処分してもらう。  
(人目に触れない場所として不審者・不良などが潜みやすいと認識する)
- ・ 暗い道を通るときは携帯で通話中のように見せるのも効果的です。

## いたずら電話の対処法

- ・ 電話を切る
- ・ ナンバーディスプレイや留守番機能を活用する。
- ・ つまらない話しに付き合わない。
- ・ おかしいなと思ったら、こちらから掛けなおすと言って名前や番号を聞く。
- ・ 間違い電話を偽って電話番号を尋ねられても絶対に答えない。
- ・ 逆に何番の誰にかけたかを尋ねる。

## 防犯保護者パトロールで

- ・ 自転車で外出するときにはできるだけ「パトロール中」のプレートをつける。
- ・ 防犯カードの内容を覚えておく。
- ・ 子どもと防犯カードをときどき見て話し合う。
- ・ 普段から子どもとコミュニケーションをとっておく。
- ・ 走行中は周りに注意しながら走行し不審者を見かけたらよく観察する。
- ・ 事件性を感じたら周りの人に協力してもらい必ず相手より多い人数を確保して声を出す。
- ・ 不審者の目撃情報など、未確認のものでも報告する。
- ・ 近所の人や、登校班の人たちと情報を共有しておく。
- ・ 子どもの行き先、通る道を確認し通る機会があれば通ってみる。
- ・ 子どもたちと話すときは、一定の距離をあけて不安感を与えないようにする。

## 子どもたちへ

あぶない目にあいそうなとき  
どうしたらいいかな？

「いやと言う」

「にげる」

「そのことを  
だれかに話す」

このことを覚えておいてくださいね。